講習の名称：楽しませる古典の学習
担当講師：藤本宗利（教育学部教授）
講習開講日：平成 28 年 8 月 20 日（土）
時間数：6 時間

主な受講対象者：中・高校国語科教諭、古典教育に関心の深い小学校教諭

キーワード：古典教育、和歌、俳句、枕草子、源氏物語、伊勢物語、平家物語、奥の細道
日本的表現史、伝統と独創、

講習の概要：『指導要領』が「伝統的な言語表現」の事項について掲げるごとく、「生涯にわたって親しむ態度の育成」という目標を達成するためには、どのような古典の授業が有効か。学習者の関心・意欲を高め、古典文学を楽しませることによって、彼らをアクティブラーニングや学び合いへと導くための、古典学習の基礎基本について考察する。

講習の展開：
第 1 時限　「春はあけぼの」再考―アクティブラーニングの基層―
第 2 時限　短歌・俳句とどう向き合うか
第 3 時限　『平家物語』を学ぶ意義
第 4 時限　物語を「読む」―学び合いを支えるもの―

受講に当たっての要件（講習内容のレベル）：特になし

授業の形式：講義形式

履修認定試験：論述形式の筆記試験（ノートと配付資料は持ち込み可）

テキスト・参考文献：プリント配布